

青森私教連 記者発表「学費滞納率全国ワースト3位」

6月25日、青森私教連は県内全私学の学費滞納と経済的理由による中退調査の結果を記者発表。翌日の地元紙2紙が記事を掲載し、ローカルニュースも流れました。会見ではアルバイトや修学旅行不参加などの事例も説明し、「入学金の補助など、生徒や保護者の負担軽減につながる公平な支援」を求めました。

私立高学費滞納率0.87%

本県24年度 全国ワースト3位

県内の私立高校に通う生徒のうち、2024年度に学費を3カ月以上滞納した生徒は64人(前年度比3人減)で、調査した生徒全体に占める割合(滞納率)は0.87%(同0.03%減)と、全国ワースト3位だったことが25日、分かった。ワースト2位だった23年度からやや改善したもの、滞納率は高止まり状態だ。経済的な理由で中退した生徒も1人いた。

県私立学校教職員組合連合(青森私教連)が同日、県庁で記者会見を開き明らかにした。調査は今年4～5月に行い、県内の私立高全17校から回答を得た。対象生徒は7334人。学費滞納者のうち、6カ月以上の「長期滞納者」の割合は、22年度57.6%、23年度62.7%、24年度67.2%と年々増加。中には高2で入学以来一度も学費を払えておらず、24カ月滞納している生徒もいた。青森私教連は滞納の背景には、賃金の低さや物価高による生活苦がある」と分析。各校に滞納理由を尋ねたところ「両親に学費を出してもらえず、学校生活の費用を生徒のアルバイト代で賄っていた」「3年時は進路活動でバイトを制限せざるを得ず、支払いが難しくなった」などの回答があった。学費未納のため、修学旅行に参加できない生徒もいた。

私立高学費滞納率0.87%

青森県、全国ワースト3位

青森県私立学校教職員組合連合(青森私教連)は25日、県内の私立高で2024年度に経済的な理由により3カ月以上学費を滞納した生徒の割合が0.87%(前年度比0.03%減)で、全国ワースト3位だったと発表した。全国平均は0.19%(0.01%減)で、ワーストが右手

の1.15%だった。県内の私立高17校7334人と私立中学6校545人を調べた。高校で3カ月以上滞納したのは前年度比3人減の64人。うち半年以上の長期滞納者は1人増の43人で67.1%(4.4%増)を占めた。組合連合は高校の滞納率が全国ワースト3位となっ

た理由について、県内で低所得者の割合が高いことなどを挙げた。私立高の学費補助を巡っては26年度から所得制限のない就学支援金が支給される見込み。時苗克敏書記長は「入学金の補助など県の補助拡充を訴えていきたい」とした。(加藤弘也)

デーリー東北6月26日付朝刊

東奥日報6月26日付朝刊

全国私教連のまとめによると、24年度の全国の平均滞納率は0.19%(前年度比0.01%減)。ワーストは右手の1.15%、次いで岡山の0.91%だった。青森私教連の齋藤敬一中

央執行委員長は「(滞納の原因に)家庭ごとの収入があるとは思って、県のバックアップは不可欠と強調、県に補助制度の拡充を求める考えを示した。」(工藤慎子)

青森県私立学校教職員組合連合
時苗克敏書記長

補助を出さなかったら入学金の補助に充てた方が
良いんじゃないかと考えています

「補助を出さなかったら入学金の補助に充てたほうが良いんじゃないかと考えています」

RAB 青森放送のニュース映像より